

全国小学生向けデータサイエンス・統計教育講座「わくわく！統計アカデミー for KIDS」の企画と運営

取組開始
時期

2020年4月

取組の
カテゴリ

教育・研究

1. 団体名 株式会社Rejoui

2. 連携先
の団体

総務省統計局データ利活用センター

3. 取組
目的

小学生のデータサイエンス・統計リテラシー向上のための教育推進

4. 関連する
ゴール

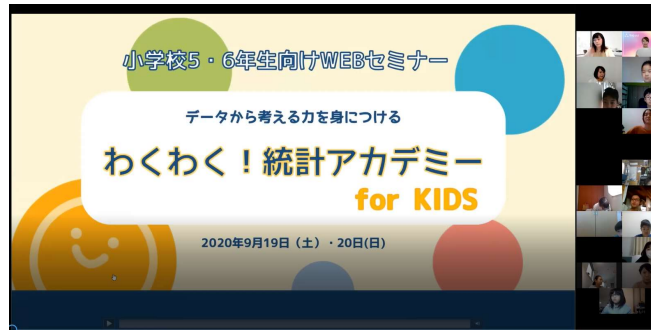


5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

総務省統計局データ利活用センターが主催で毎年行われる、問題解決におけるデータの活用、統計データの利活用に関する教育推進活動の一環で、2020年度は小学生向けにデータサイエンス・統計講座を開催。オンライン開催により、全国より小学校5年生・6年生の子ども達に向けて、身近な生活で活用される統計データや、データを取り扱う職業について紹介し、興味関心を訴求いたしました。

イベント概要

開催日：2020年9月19日および20日 13:00～16:00
開催方式：オンライン講座（Zoom）
参加人数：2日間合計57名（応募総数：99名）



講座内容

講座は、統計の成り立ちとデータの基礎、データを活用したグラフ（可視化）についてを主なコンテンツとして構成。座学のほか、子ども達が実際に手を動かして、集計やグラフ作成を体験する演習を盛り込むことで、より深くデータサイエンス・統計について理解、興味関心を引き付けるものとなりました。

プログラム一覧

- 1：わたしたちの身近な統計について
演習①「キッズすたっと」を使ってみよう
統計データサイト「キッズすたっと」とは？
操作方法について
気になることを調べてみよう
- 2：身近なデータについて学ぼう！
データの種類

- 3：わたしたちの身近にあるデータ
データの特徴を見てみよう
社会における統計の活用
平均について
データの読み解き方
- 4：グラフについて
さまざまなグラフ
グラフの読み方・描き方
グラフ作成時の注意点
演習②グラフを作成しよう

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

オンライン開催とすることにより、一部地域での限定的な講座ではなく、全国区の小学生に対して参加機会を提供することができた。

ステークホルダーとの連携

- ・コンテンツの一部に、総務省統計局が取り組む国勢調査の目的やデータ利活用方法について紹介し、国におけるデータ利活用への関心度向上に貢献。
- ・参加者自身が、データについて自らの考えを述べたり、集計グラフを作成するワークショップを取り入れた。

モデル性・波及性

- ・学校教育課程にあわせた教材とコンテンツ作成を心掛け、子ども達の理解度にあわせて講座内容を構成した。
- ・作成された教材は、普遍的な要素で構成されており、今後さまざまな教育機関での流用が可能となる。

自由記述欄

教材（一部）

演習その1：キッズすたつとを使ってみよう

「キッズすたつと〜探そう統計データ〜とは
小・中学校の教科書に載っているキーワードや単元などから、統計データを簡単に探せるサイトです。
わたしたちの暮らしに関係することや国土についてのデータ、世界の国々についてのデータを調べることができます。
<https://dashboard.e-stat.go.jp/kids/>



データとは（社会における統計の活用）

・わたしたちの身近にあるデータは、社会の中のさまざまな場面で役立っています。



【医療データを使って診断】
医療データは、診察時に過去の診断結果から症状を予測して、誤診を防ぐだけではなく病気の早期発見や予防につながるように役立てられています。



総務省統計局は、国や企業が皆さんの暮らしを良くするための活動のために国勢調査を実施し、データを提供しています。具体的には、医療費や年金の給付額を決める・災害の対策に役立てる・企業が出店する場所を決めるときなどに役立てられています。

テキスト16ページを見てね

データの特徴を見てみよう（中央値）

平均の他にも、データの特徴を見るために重要な値はいくつかあります。中央値は、データを小さい順に並べたときに真ん中に位置する数字のことを言います。データが5個ある場合は、小さい順に並べたときに真ん中に来る、3番目の数字が中央値になります。データが6個ある場合は、小さい順に並べたときに真ん中に来る、3番目と4番目の平均が中央値です。



開催後アンケート（n=30）

回答者のうち、76.7%が満足と回答

Q 8. 本講座のお子様の満足度をお答えください

。(n=30)



回答者のうち、83.4%が統計に興味を持ったと回答

Q11. 本講座を受講されてお子様は統計への興味

を持たれましたか。(n=30)



参加者の声

統計を初めて聞いたから、はじめはよく分からなかったけれど分かるようになった。

統計のイベントに参加したり、統計の本も持っていたけれど、実際にグラフを作ってみると、難しいところや本に載っていないことも学べて良かった。

統計というものが身近にあるものだと気づいた。それ以外にも、グラフを作ったり皆で話し合ったりして、自分が考えられなかった意見を聞いたりできて良かった。

グラフを書く時の基本や、グラフの役割が分かって良かった。これを機に統計のことをもっと調べてみたい。